



吉高人権だより

2021年 11月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

『じぶんに素直な気持ち』

数学科 池田 匠

みなさんは最近生活をしていて、素直に「綺麗」、「おもしろい」、「美味しい」、「感動した」などを感じる瞬間がありましたか。思い返してみてください。

私の実家は、ぶどう農家を営んでいます。ぶどうを作ってお店に出荷し、販売してもらいます。最近、お店での販売の際に商品に「糖度」という甘さを示す指標が提示されるようになりました。「糖度」が高ければ甘いということなので、お客さんは「糖度」を見て購入するかどうかを決めるようになってきたそうです。しかし、生産者側からすると、「美味しさ」とは甘さだけではなく、酸味や渋みなど様々な成分が絶妙なバランスをもって「美味しい」と感じるもので、甘味だけで判断してしまうようになり残念だという話を聞きました。こういった、ある基準をもとに判断してしまうということが近年情報化の進展につれ、非常に増えてきています。

「インフルエンサー」という言葉を見たり聞いたりしたことはありませんか。「インフルエンサー」とは「影響力のある人」という意味で使われています。現在インターネット上で、インフルエンサーの存在がとて大きくまりました。芸能人やYouTuberなどの有名人がSNSで紹介した物や写真は、どこか良いと感じていませんか。また、Web上の口コミや高評価、「いいね」の数で商品やお店、観光地などが評価され、その評価をもとに判断していませんか。これらのことは決して悪いわけではありません。たくさんの情報をたくさんの人と共有することで、豊かな生活を送ることができるというのがインターネットの良さです。しかし、評価の高さや“いいね”の数にとらわれすぎると、人が本来持っている素直な感情に気づけなくなってしまうと言われていています。本当の自分の気持ちや想いがあっても、多くの評価に影響され、押し殺してしまいます。たまにはじぶんの素直な気持ちに正直になってみましょう。

学校生活でも同じです。先日行われた体育祭は、本当に素晴らしいものでした。3年生を中心にみんなで盛り上げようとする雰囲気を感じました。これからの生活で周りの評価や噂に影響されることもあるでしょう。そんな時は、一度立ち止まって自分の素直な気持ちを自分自身に聞いてみましょう。そこには素晴らしい想いがあるでしょう。

【人権委員会の活動から】

去る 11 月 3 日（水）に行われた文化祭で人権委員会は、「シトラスリボンツリーをつくろう」ということで、参加者のみなさんとシトラスリボンを作ることになりました。そのため、参加者のみなさんがシトラスリボンをスムーズに作ることができるように事前に動画を見たり、昼休みに集まって練習を重ねました



当日は、多くの生徒のみなさんや一般の参加者の方々に参加していただいたおかげで、たくさんのシトラスリボンを作ることができました。みなさんに作っていただいたシトラスリボンはツリーに飾り付けをして、以前に 1 年生の生徒のみなさんで作った花の鉢植えと交換して町内の高齢者施設などに配りに行く予定になっています。

